

WebSAM DeploymentManager Ver6.12

SQL Server 2019へのアップグレード手順書

—第 1 版—

改版履歴

版数	改版日付	改版内容
1	2022/06	新規作成

目次

1. 使用しているデータベースをSQL Server 2019へアップグレードする手順.....	5
2. SQL Server 2019にデータベースを構築する手順.....	6
2.1. データベースの作成.....	6
2.2. DPMサーバのインストール	6
3. アンインストール	8

商標について

- ・ WebSAMIは日本電気株式会社の登録商標です。
- ・ Microsoftは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

はじめに

本書は、WebSAM DeploymentManager Ver6.12(以降、DPM)で使用しているデータベースをSQL Server 2019(Express/Standard/Enterprise)へアップグレードする手順について説明します。

ヒント

- 本書で説明しているインストール手順以外は、「インストレーションガイド」を参照してください。以下の製品サイトから、最新版を入手できます。
<https://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/>
- SigmaSystemCenter、VirtualPCCenter に同梱している DPM を使用している場合は、以下の SigmaSystemCenter の製品サイトも参照してください。
<https://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/>

1. 使用しているデータベースを SQL Server 2019 へアップグレードする手順

本章では、使用しているデータベースをSQL Server 2019にアップグレードする手順について説明します。

注意

- アップグレード前に Microsoft 社のページ(以下)を参照して、システム要件、注意事項などを確認しておいてください。
 - ・ バージョンをアップグレードする場合
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/database-engine/install-windows/upgrade-sql-server-using-the-installation-wizard-setup?view=sql-server-ver15>
 - ・ 上位エディションにアップグレードする場合
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/database-engine/install-windows/upgrade-to-a-different-edition-of-sql-server-setup?view=sql-server-ver15>
- Windows Server 2016より前のOSはSQL Server 2019の対象OSでないため、SQL Server 2019へのアップグレードはできません。
- アップグレード元の SQL Server のアーキテクチャが x86 の場合、SQL Server 2019 へのアップグレードはできません。

- (1) データベースがインストールされたマシンに、管理者権限を持つユーザでログオンします。
- (2) 「スタート」メニューから「管理ツール」→「サービス」を選択し、「DeploymentManager」で始まる名前のサービスをすべて停止します。ただし、データベースサーバ上にデータベースを構築している場合は、本手順は必要ありませんので(3)へ進んでください。
- (3) Microsoft 社のページ(以下)を参照して、アップグレードを行ってください。
 - ・バージョンをアップグレードする場合
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/database-engine/install-windows/upgrade-sql-server-using-the-installation-wizard-setup?view=sql-server-ver15>
 - ・上位エディションにアップグレードする場合
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/database-engine/install-windows/upgrade-to-a-different-edition-of-sql-server-setup?view=sql-server-ver15>

注意

- 「SQL Server インストールセンター」の設定内容については、以下に注意してください。
 - 「インスタンスの選択」画面：DPMのインスタンスを選択してください。

- (4) (2)で停止したサービスをすべて開始します。ただし、データベースサーバ上にデータベースを構築している場合は、本手順は必要ありません。

以上で、SQL Server 2019へのアップグレードは完了です。

2. SQL Server 2019 にデータベースを構築する手順

本章では、SQL Server 2019をインストール済みのマシンにDPMサーバ、およびデータベースを構築する手順について説明します。

ヒント

データベースサーバ(SQL Server 2019をインストール済みのマシン)上にDPM用のデータベースを構築し、別のマシン上にDPMサーバをインストールする場合は、「インストレーションガイド 2.1 DPMサーバをインストールする」、および「インストレーションガイド 付録 D データベースサーバにSQL Serverのデータベースを構築する」を参照してください。

2.1. データベースの作成

データベースの作成手順について説明します。

- (1) データベースを作成するマシンに、管理者権限を持つユーザでログインします。
- (2) Microsoft 社のページ(以下)を参照して、データベースを作成してください。
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/database-engine/install-windows/install-sql-server-from-the-installation-wizard-setup?view=sql-server-ver15>

注意

- DPMサーバのOSがWindows Server 2016より前のOSのようにSQL Server 2019の対象OSでない場合は、DPMサーバをインストールする前に、Microsoft社の以下のWebページを参照して、OSがサポート対象としているSQL Serverを確認の上、データベースの構築とインスタンスの作成を行ってください。なお、使用しているSQL Serverの製品バージョン専用のWebページがある場合は、そちらを参照してください。
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/database-engine/install-windows/install-sql-server-from-the-installation-wizard-setup?view=sql-server-ver15>
- 「SQL Server インストールセンター」の設定内容については、以下に注意してください。
 - ・「機能の選択」画面:「データベース エンジン サービス」にチェックを入れてください。
 - ・「インスタンスの構成」画面: インスタンス名(16Byte以内で指定してください。使用できる文字は、半角英数字です。)を入力してください。
 - ・「データベース エンジンの構成」画面:「サーバーの構成」タブで、以下の設定を行ってください。
 - 「認証モード」は、「Windows 認証モード」を選択してください。
 - 「SQL Server 管理者の指定」は、「現在のユーザーの追加」ボタンをクリックして指定してください。また、「追加」ボタンをクリックして「Administrators」を追加してください。

- (3) コマンドプロンプトを起動して、下記コマンドを実行します。
(以下のコマンドは、表記の都合上2行で記載していますが、1行で入力してください。)

```
SQLCMD.EXE -E -S ".¥インスタンス名" -Q "alter server role [sysadmin] add member [NT AUTHORITY¥SYSTEM]"
```

例)

```
SQLCMD.EXE -E -S ".¥DPMDBI" -Q "alter server role [sysadmin] add member [NT AUTHORITY¥SYSTEM]"
```

ヒント

SQLCMDのパスが通っていない場合は、再度ログオンして、コマンドを実行してください。

2.2. DPM サーバのインストール

「インストールガイド 2.1 DPMサーバをインストールする」を参照して、DPMサーバをインストールしてください。

注意

手順(10)-2)では、「ローカルSQL Serverを使用します」を選択した後、インストール済のSQL Serverのインスタンス名を指定してください。

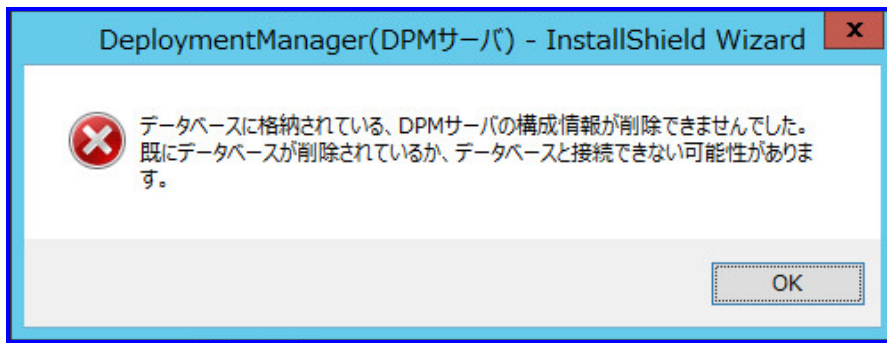
以上で、データベースの構築は完了です。

3. アンインストール

本章では、前章までの手順で構築した環境から、データベースのみをアンインストールする手順について説明します。データベース以外のコンポーネントについては、「インストレーションガイド」を参照してください。

注意

- データベースをアンインストールする前に以下を参照して、注意事項などを確認しておいてください。
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/sql-server/install/uninstall-an-existing-instance-of-sql-server-setup?view=sql-server-ver15&tabs=Windows10>
- データベースをアンインストール後に DPM サーバをアンインストールすると、以下の画面が表示されます。
動作上問題ありませんので、「OK」ボタンをクリックして、アンインストールを進めてください。



ヒント

- DPM サーバを一緒にアンインストールする場合は、「インストレーションガイド 4.2 DPM サーバをアンインストールする」を参照してください。
- データベースサーバ上にデータベースを構築している場合は、「インストレーションガイド 付録 D データベースサーバに SQL Server のデータベースを構築する」の「■ データベースをアンインストールする」を参照してください。

- (1) DPM サーバをインストールしているマシンに、管理者権限を持つユーザでログオンします。
- (2) Microsoft 社のページ(以下)を参照して、インスタンスをアンインストールしてください。
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/sql-server/install/uninstall-an-existing-instance-of-sql-server-setup?view=sql-server-ver15&tabs=Windows10>
- (3) 以下フォルダ配下のファイルをすべて削除してください。
 - ・ SQL Server 2017 から SQL Server 2019 へアップグレードインストールした場合
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL14. **インスタンス名**\MSSQL\Data
 - ・ SQL Server 2016 から SQL Server 2019 へアップグレードインストールした場合
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL13. **インスタンス名**\MSSQL\Data
 - ・ SQL Server 2014 から SQL Server 2019 へアップグレードインストールした場合
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL12. **インスタンス名**\MSSQL\Data
 - ・ SQL Server 2012からSQL Server 2019へアップグレードインストールした場合
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL11. **インスタンス名**\MSSQL\Data

以上で、データベースのアンインストールは完了です。